



今日の表紙

第15回日光  
ツーデーウォーク



9月6日(土)・7日(日)の2日間、日光・今市地域で世界遺産「日光の社寺」登録15周年記念第15回日光ツーデーウォークが開催され、延べ1,545人が参加しました。取材当日の初日は天候にも恵まれ、多くの参加者が5km・13km・20kmの各コースに分かれ、初秋の日光路をそれぞれのペースで歩きました。

今回は、神橋を渡るコースが設定され、周辺では日光子ども歴史探検隊が神橋にちなんだクイズやガイドをし、参加者から拍手喝采を浴びていました。

宇都宮市から5人グループで参加した美坂さんは「初めて参加しましたが、久しぶりに良い汗をかけて気持ち良かったです」と額の汗を拭いながら満足した様子で話してくれました。



鬼怒川温泉と川治温泉で、毎年恒例の夏まつりが開催されました。鬼怒川温泉は8月13日(水)・14日(木)、川治温泉は8月14日(木)・15日(金)のそれぞれ2日間行われ、多くの市民や観光客が盆踊りなどを楽しんでいました。川治温泉では、浴衣姿の宿泊客たちが、踊りの手ほどきを受けながら楽しそうに踊っていました。また、無料で樽酒が振る舞われま



した。鬼怒川温泉では、盆踊りや花火大会の他に、豪華商品が当たる抽選会が行われました。折りたたみ自転車や当てる守屋さん(さいたま市)は、「自転車が当たってびっくりしました。初めて鬼怒川温泉にきましたが、とても良い思い出になりました」とうれしそうに答えてくれました。

鬼怒川温泉・川治温泉夏まつり

日光和楽踊り



8月9日(土)、日光和楽踊りが開催されました。

例年、この踊りは、古河電気工業株式会社日光事業所で開催されていますが、2月の大雪で被害が出てしまい、当事業所での開催ができなくなりました。しかし、伝統を継承していきたいという地域の有志たちによって、今回は会場を清滝小学校に移し、開催することができました。

当日は、台風の影響であいにくの大雨でしたが、約1,500名が参加しました。会場は、踊り手たちとお囃子の演奏者たちの熱気と歌い手の軽やかな歌声に包まれました。

約40年間、踊り手として参加し続けている小泉さん(清滝)は「雨が降ってしまっても残念です。だけど濡れてしまえば問題ありません。楽しいですよ」と笑顔で話してくれました。



8月13日(水)、足尾庁舎前で足尾納涼祭が開催されました。このイベントは足尾の伝統的な盆踊りで、「直利音頭」のリズムに合わせて、多くの市民や帰省客などが踊りを楽しんでいました。盆踊りの他にも、フラダンスのショーや Watarase Art Project によるワークショップ、足尾町商工会による露店なども行われ、会場は訪れた人たちは思い思いに夏の



夜を楽しんでいました。また、商工会女性部による「流し踊り」や毎年恒例の仮装大会が始まると、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。群馬県から家族で訪れた星野さんは、「足尾は私の故郷です。昨年は来られなかったのですが、今年は参加できてうれしいです。やっぱり夏祭りは最高ですね」と感慨深そうな表情を浮かべていました。



ボランティア・市民活動フェスタ2014



8月23日(土)、今市文化会館・中央公民館・勤労青少年ホームを会場に、ボランティア・市民活動フェスタ2014が行われました。このイベントは、ボランティアや市民活動についての情報発信や交流、ネットワークの構築などを通じて活動を促進させ、誰もが暮らしやすい社会を実現していくことを目的として開催されています。



会場には、福祉や芸術、環境教育など、市内で活動する48の団体が出店し、たくさんの方々が来場者でにぎわっていました。家族と訪れた荒巻榎斗くん(手岡)は、消防本部の起震車で震度7の地震を疑似体験し「最初は気持ちよかったですけど、大きい地震は恐かった」と真剣な表情で地震の恐さを話してくれました。



8月31日(日)、芹沼地区で厄よけ大わらじ奉納が行われました。芹沼公民館で文挟流芹沼獅子舞が奉納された後、富士浅間神社の鳥居前の木などに、長さ1m幅70cmの大わらじが掛けられました。この行事は、村に大男がいることを暗に示し、隣村との境に巨大わらじを飾り「悪者は村に入るな」と訴えることで厄除けを祈願する伝統行事です。

厄よけ大わらじ奉納